

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	倉敷市立福田中学校	実践者名	北原 浩美
教科等	美術	学年	第2学年
		Stage	Stage 3
育成したい 資質・能力	思考力・判断力・表現力等		
単元・内容等	現代アートの鑑賞		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	中学校での端末利用は、小学校から中学校1年生まで利用していたので、使い慣れている様子を感じられた。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
<p>(1) 現代アートについて興味をもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> 「どちらが現代アートか」というクイズを行った。 <p>(2) 現代アートの歴史を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代から現代までの美術の歴史を振り返り、現代アートの歴史を理解させた。さらに国内外の著名なアーティストと作品を紹介し、様々なジャンルがあることを知らせた。現代アートにはさまざまな表現方法があり、感じ方も自由であることを伝えた。 <p>(3) 「アートとは何か?」というテーマで相談活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ（5～6人）のJamboardに、各自の色を決めて2枚の「ふせん」を作成して貼った。 1枚は「アートとは〇〇である」、もう1枚は「そう思う理由」として、作成した。 全員貼り終わったら、班全員で話し合い、より良い意見や納得できる意見にまとめ、Jamboardに記載した。 各班の意見が出そろったところで、教師がスクリーンに班のJamboard画面を順番に写し、それを見ながら各班でまとめた意見を全員で確認していった。 <p>(4) まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の感想や気づきを各自のワークシートにまとめる。 			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
Jamboard を利用することで、グループの意見を同時に集約し、一つの意見にまとめるまでの過程がスムーズに行えた。		<p>(生徒の様子)</p> <p>生徒は様々な意見や考え方があることを知り、それらの意見をJamboardで整理し、まとめることができた。ICT機器を利用することで、より自分の意見を表現しやすくなった生徒もいた。</p>	

